

第3章 学生生活の充実感・満足感

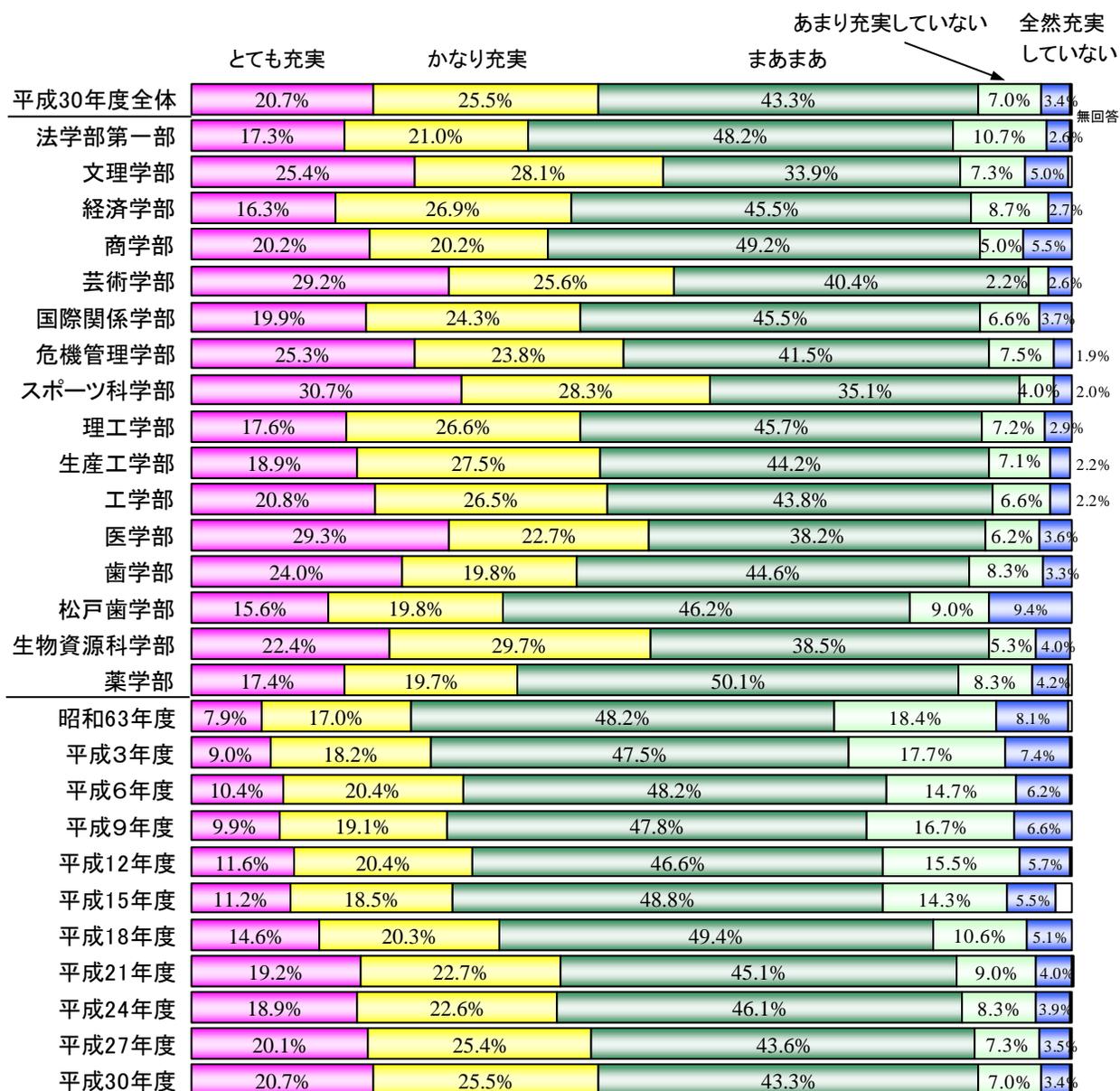
1. 学生生活充実感

本学学生の46.2%が学生生活に充実感。学部間で多少の差。
昭和63年以来、充実感は大幅に高まっている。

学生生活の充実感について本学学生全体の回答を見ると、「とても充実」が20.7%、「かなり充実」が25.5%となっており、合わせて46.2%の学生が「充実している」と回答しています。学部別に「充実している」と答えた学生の比率を見ると、スポーツ科学部が59.0%で最も高く、次いで芸術学部（54.8%）、文理学部（53.5%）、生物資源科学部（52.1%）、医学部（52.0%）の順となっています。一方、松戸歯学部・薬学部・法学部第一部では30%台にとどまっています。

経年変化を見ると、「充実している」とする比率は昭和63年度から概ね増加傾向を示し、30年間で21.3ポイント増となっており、学生生活の充実感はかなり高まっているようです。

図3-1 学生生活の充実感(平成30年度全体・学部別・経年変化)



2.学部別 学生生活充実感の経年変化

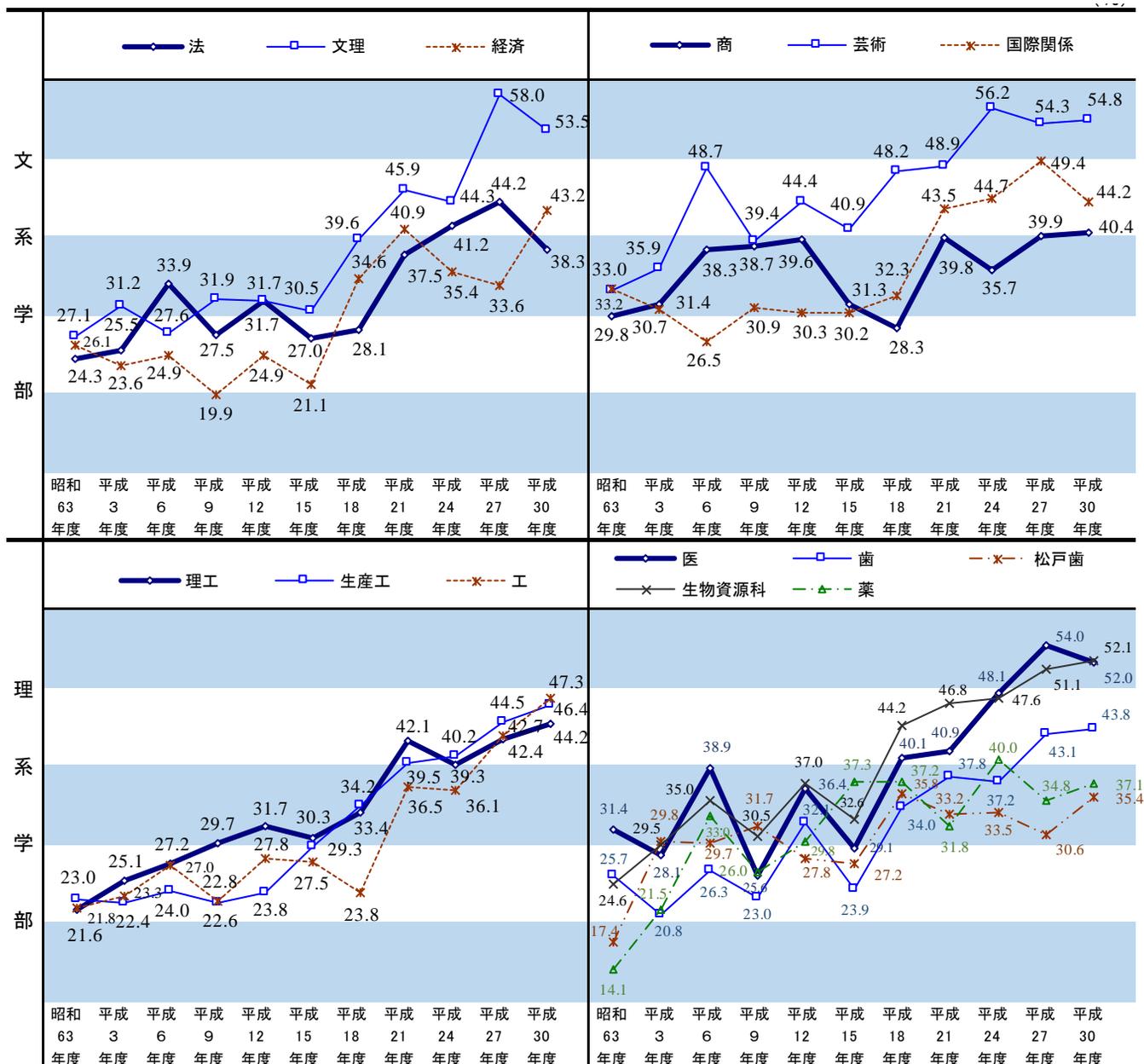
学生生活が充実している学生の比率は、各学部とも長期的に見て高まる傾向。
昭和63年度からの30年間に最も増加したのは生物資源科学部。
顕著な伸びを示してきた文理学部は、3年前より減少に転ず。

学部ごとに「学生生活が充実している」学生（「とても充実」と「かなり充実」の合計）の比率の経年変化を見ると、昭和63年度からの30年間に各学部とも概して高まる傾向が見られます。

また、学部により高まる時期や期間に違いがあることがわかります。例えば生物資源科学部は30年間に24.6%から52.1%と27.5ポイント増、文理学部・医学部・経済学部は平成15年度から平成30年度の15年間に20ポイント以上増加が見られます。商学部と国際関係学部では平成24年度に3年前より11ポイント以上増、芸術学部では平成6年度に3年前より12.8ポイント増加しています。

長期的に見ると各学部とも「充実している」学生の比率が高まっていますが、直近の3年間で見ると、法学部第一部、国際関係学部、文理学部では5ポイント前後の減少が見られています。

図3-2「学生生活が充実している」学生の比率の経年変化(学部別)



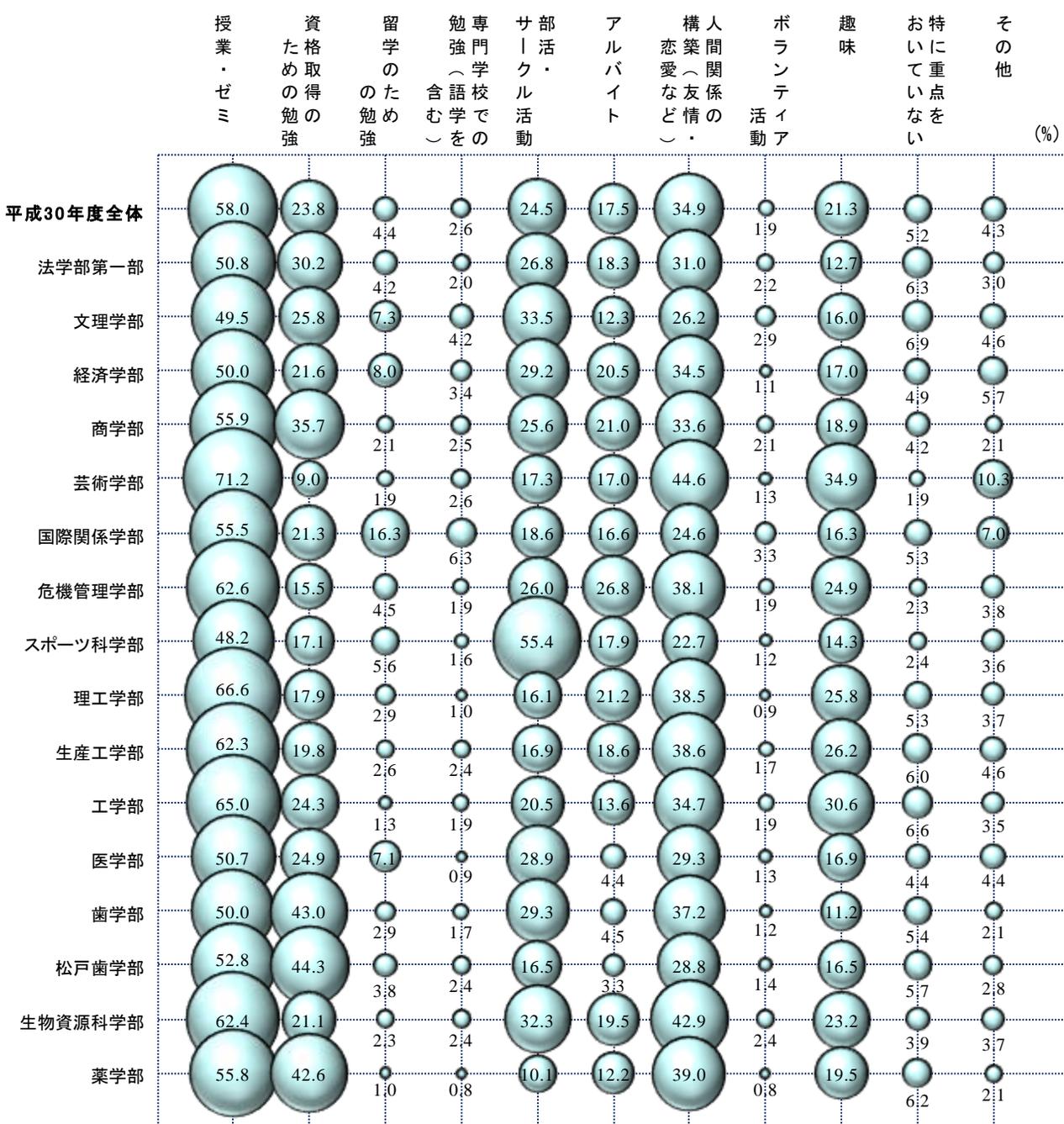
(注) 「とても充実している」と「かなり充実している」の%の合計

3. 学生生活で重要視すること

学生生活で重要視することは、「授業・ゼミ」がトップ、次いで「人間関係の構築」。「人間関係」より「授業・ゼミ」重視が強まる傾向が続く。

学生生活で重要視することを全体で見ると、「授業・ゼミ」が58.0%で最も高く、「人間関係の構築」が34.9%で2番目、「部活・サークル活動」「資格取得のための勉強」「趣味」が20%台で続いています。学部別に見ると、この項目が含まれ出した12年前の調査では「人間関係の構築」がトップの学部が7学部ありましたが、9年前は歯学部のみ、6年前は歯学部と薬学部（薬学部は「授業・ゼミ」と同率）、3年前と今回は皆無でした。人間関係構築より授業・ゼミ重視の傾向が益々色濃くなってきています。平成28年度創設のスポーツ科学部は「部活・サークル活動」が55.4%で重要視する学生が最も高くなっています。

図3-3 学生生活で重要視すること(平成30年度全体・学部別)

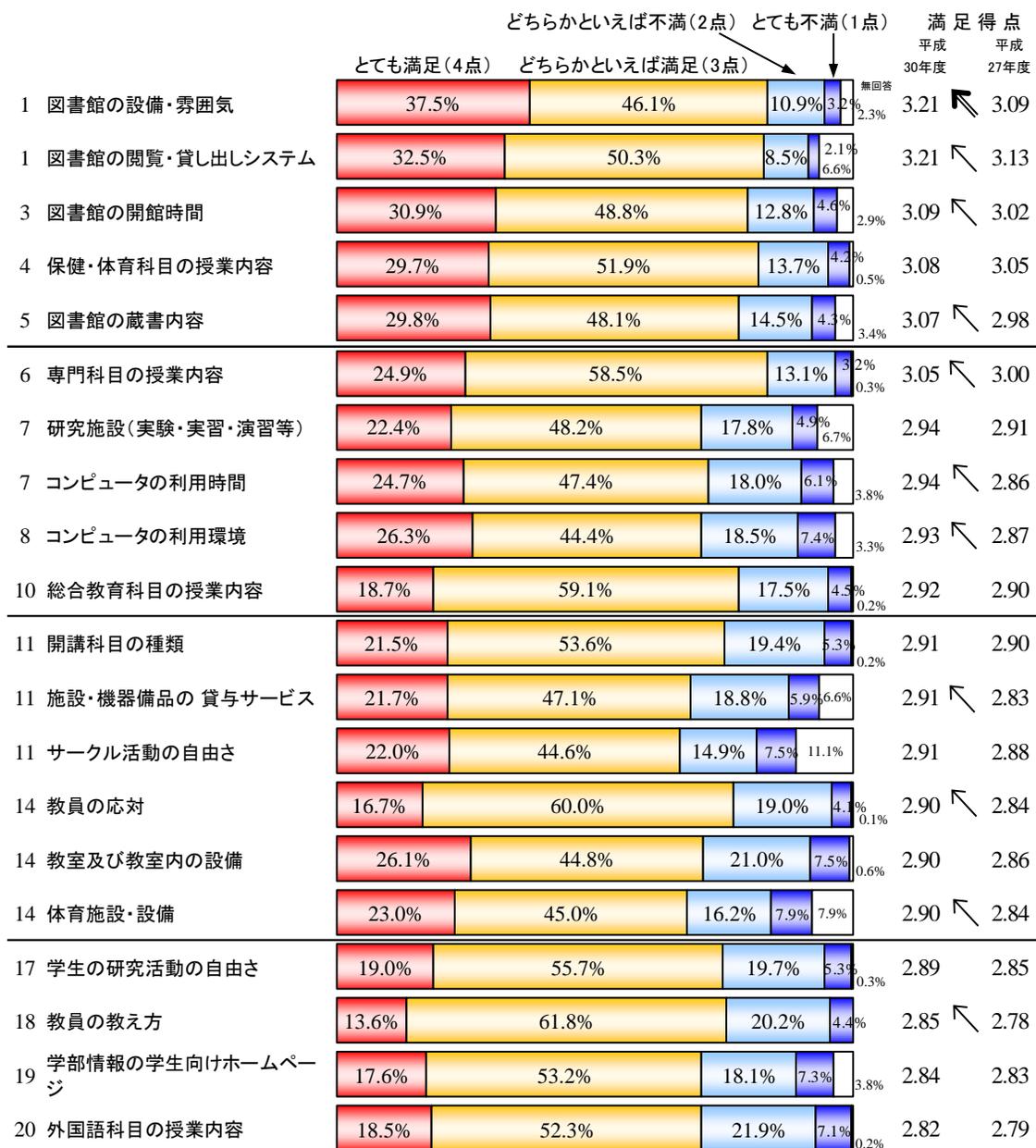


4. 日本大学全体でみた満足得点の高い項目

図書館に対する満足感に加え、授業内容の満足感も高い。
3年前と比較して、図書館やコンピュータ利用に関する満足感の向上が目立つ。

授業・施設・対応・サービスについての学生全体の満足得点の高い順を見ると、「図書館の設備・雰囲気」と「図書館の閲覧・貸し出しシステム」が各3.21で最も高く、「図書館の開館時間」「図書館の蔵書内容」が5位以内にランクされています。各学部とも図書館を重要視しており、IT技術による全学統一検索・閲覧システムの導入、ラウンジコーナーの設置など多機能化の推進が学生に評価されていることがわかります。3年前と比較すると、「図書館の設備・雰囲気」をはじめ図書館に関する満足感やコンピュータの利用時間や利用環境の満足感の向上が目立っています。授業内容については、「保健・体育科目」が4位、「専門科目」が6位、「総合教育科目」が10位にランクされており、図書館だけでなく、授業に対する満足感も高いと言えます。

図3-4 授業・施設・対応・サービスの満足得点ベスト20(平成30年度全体)



注) 満足得点は「とても満足(4点)」～「とても不満(1点)」とした加重平均値。無回答は母数から除いている。

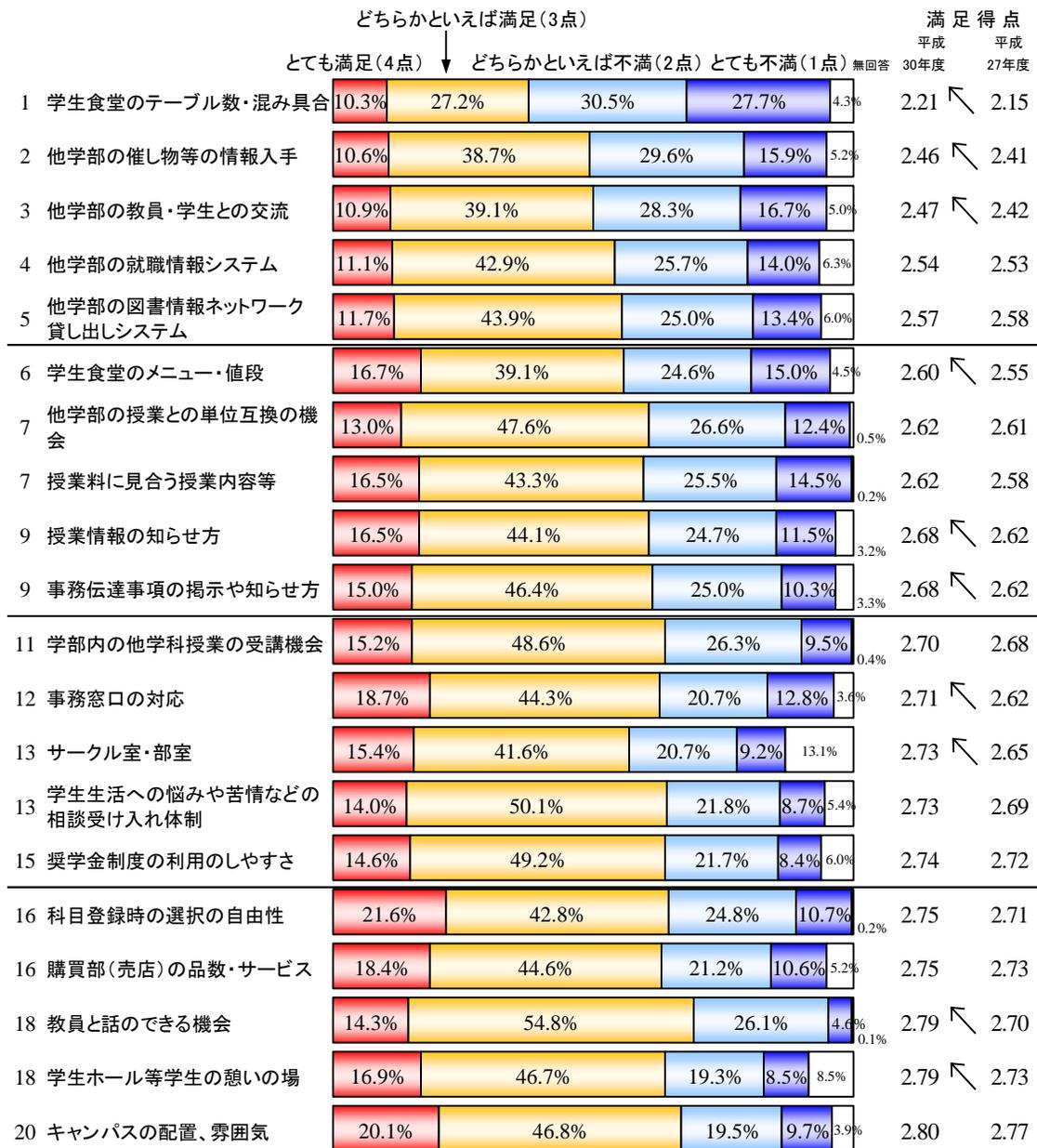
0.05点以上上昇…… ↗ 0.1点以上上昇…… ↗

5. 日本大学全体でみた満足得点の低い項目

学生食堂、学部間の交流等に関する不満が依然強いものの、3年前より不満感は減少傾向。学部内情報伝達方法や「事務窓口の対応」、「教員と話の出来る機会」などの不満が減少。

授業・施設・対応・サービスについて、学生全体の満足得点の低い順を見ると、「学生食堂のテーブル数・混み具合」が2.21（不満が58.2%）でワースト1位、「学生食堂のメニュー・値段」がワースト6位と学食に対する不満が強いようです。「他学部の催しなどの情報入手」「他学部の教員・学生との交流」「他学部の就職情報システム」「他学部の図書館情報ネットワーク・貸出システム」がワースト2位から5位となっており、16学部という本学の規模を生かした交流や情報の充実を強く望んでいることがわかります。3年前と比較すると、学食に対する不満、内部伝達方法や「事務窓口の対応」「教員と話のできる機会」などについての不満は軽減する傾向が見られます（満足得点が0.05点以上アップ）。

図3-5 授業・施設・対応・サービスの満足得点ワースト20(平成30年度全体)



注) 満足得点は「とても満足(4点)」～「とても不満(1点)」とした加重平均値。無回答は母数から除いている。

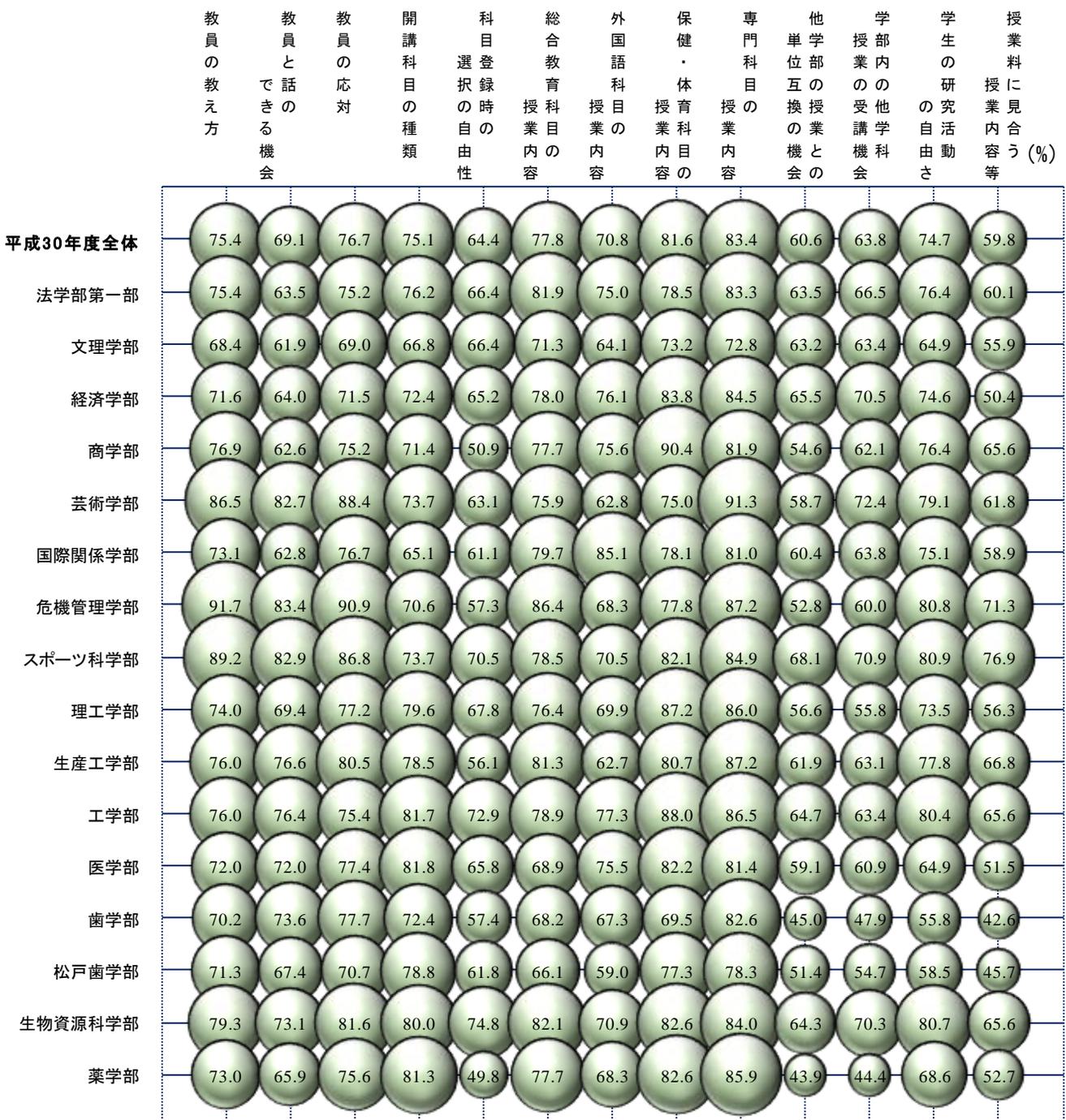
0.05点以上上昇…… ↖ 0.1点以上上昇…… ↗

6. 授業についての満足層の比率

「専門科目の授業内容」は14学部で80%以上の学生が満足。
3年前より商学部で教員に関する満足度が大幅に向上。

授業についての満足層（とても満足＋どちらかといえば満足）の比率を学部別に見たものが下図です。「専門科目の授業内容」は芸術学部の91.3%を筆頭に危機管理学部と工学系学部（工学部・理工学部・生産工学部）で86%以上、他の9学部で80%以上と満足感の高さが際立っています。「教員の教え方」と「教員の応対」は文理学部を除く15学部で70%以上、危機管理学部では90%以上と高くなっています。3年前と比較すると、商学部で「教員の教え方」「教員と話のできる機会」「教員の応対」といった教員に関する満足層が各16ポイント以上増と満足度が大幅に向上している点が目立ちます。

図3-6 授業についての満足層の比率(平成30年度全体・学部別)

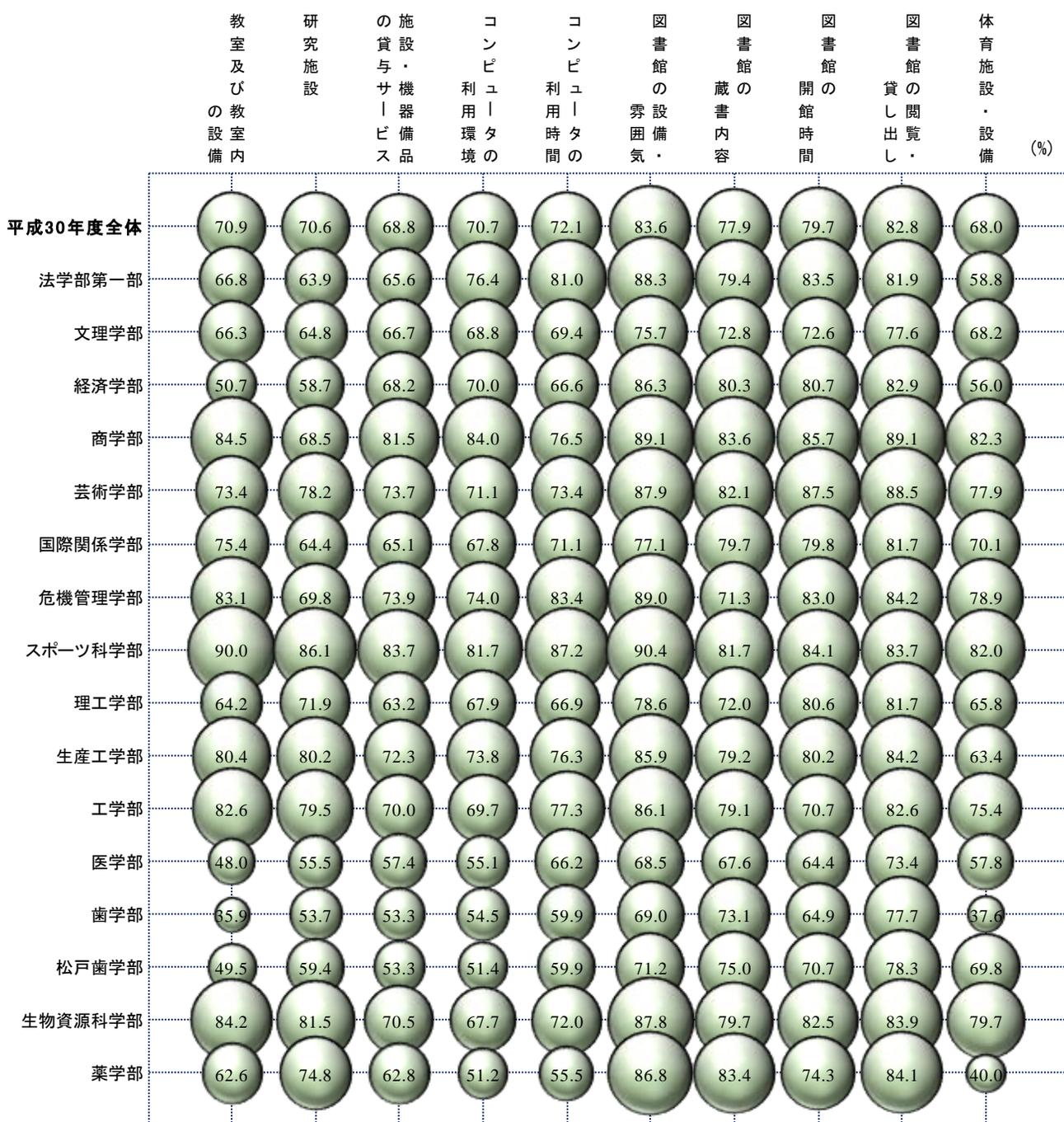


7. 施設についての満足層の比率—その1

「教室及び教室内の設備」「研究施設」はスポーツ科学部・生物資源科学部等で満足感が高い。経済学部では図書館とコンピュータ利用の満足感が3年前より大幅アップ。

勉学に関する施設について、満足層(とても満足+どちらかといえば満足)の比率を学部別に見たものが下図です。「教室及び教室内の設備」「研究施設」共に80%以上と高い学部はスポーツ科学部・生物資源科学部・生産工学部、図書館に関して「設備・雰囲気」「蔵書内容」「開館時間」「閲覧・貸し出しシステム」の全てが80%台と高い学部はスポーツ科学部・商学部・芸術学部・経済学部です。満足層の比率を3年前と比較すると、図書館が平成29年に移設された経済学部で、図書館の「設備・雰囲気」「蔵書内容」、コンピュータの「利用環境」が各31ポイント以上増加している点が目立っています。

図3-7-1 施設についての満足層の比率(平成30年度全体・学部別)—その1



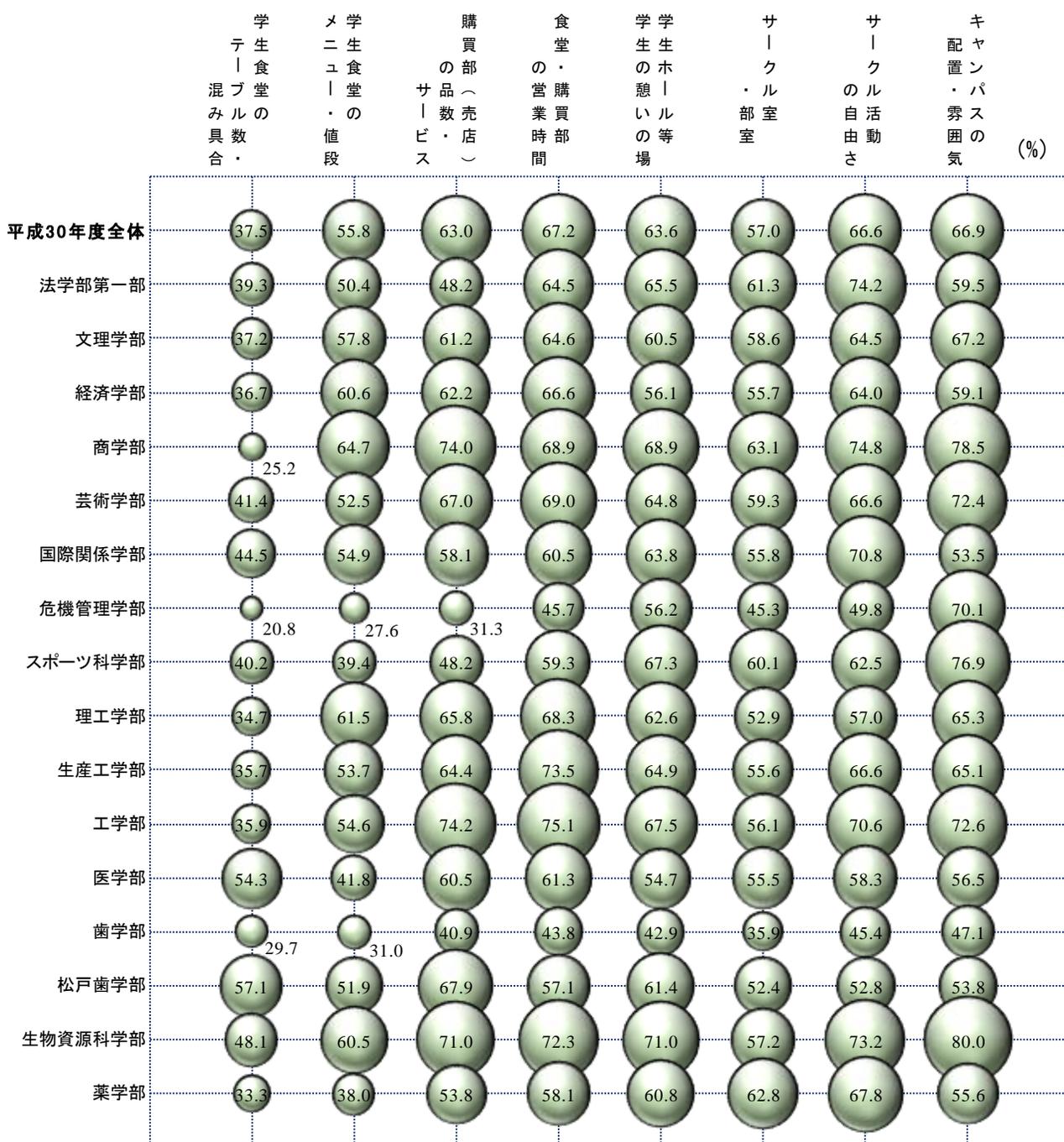
7. 施設についての満足層の比率—その2

3年前より、商学部・芸術学部で、学生食堂の「メニュー・値段」「営業時間」の満足層増大。
経済学部は「学生の憩いの場」の満足層が増大。

付帯施設について、満足層(とても満足+どちらかといえば満足)の比率を見たものが下図です。「学生食堂のメニュー・値段」「購買部(売店)の品数・サービス」「食堂・購買部の営業時間」が全て60%以上の学部は生物資源科学部・商学部・理工学部・経済学部,「キャンパスの配置・雰囲気」は生物資源科学部で80%,商学部・スポーツ科学部・工学部・芸術学部・危機管理学部で70%以上と高くなっています。

3年前と比較すると,「学生食堂のメニュー・値段」が商学部・芸術学部・松戸歯学部で,「食堂・購買部の営業時間」が医学部・芸術学部・商学部で各12ポイント以上満足層が増加,経済学部では「学生ホール等学生の憩いの場」「サークル・部室」等が10ポイント以上増加している点が目立っています。

図3-7-2 施設についての満足層の比率(平成30年度全体・学部別)—その2



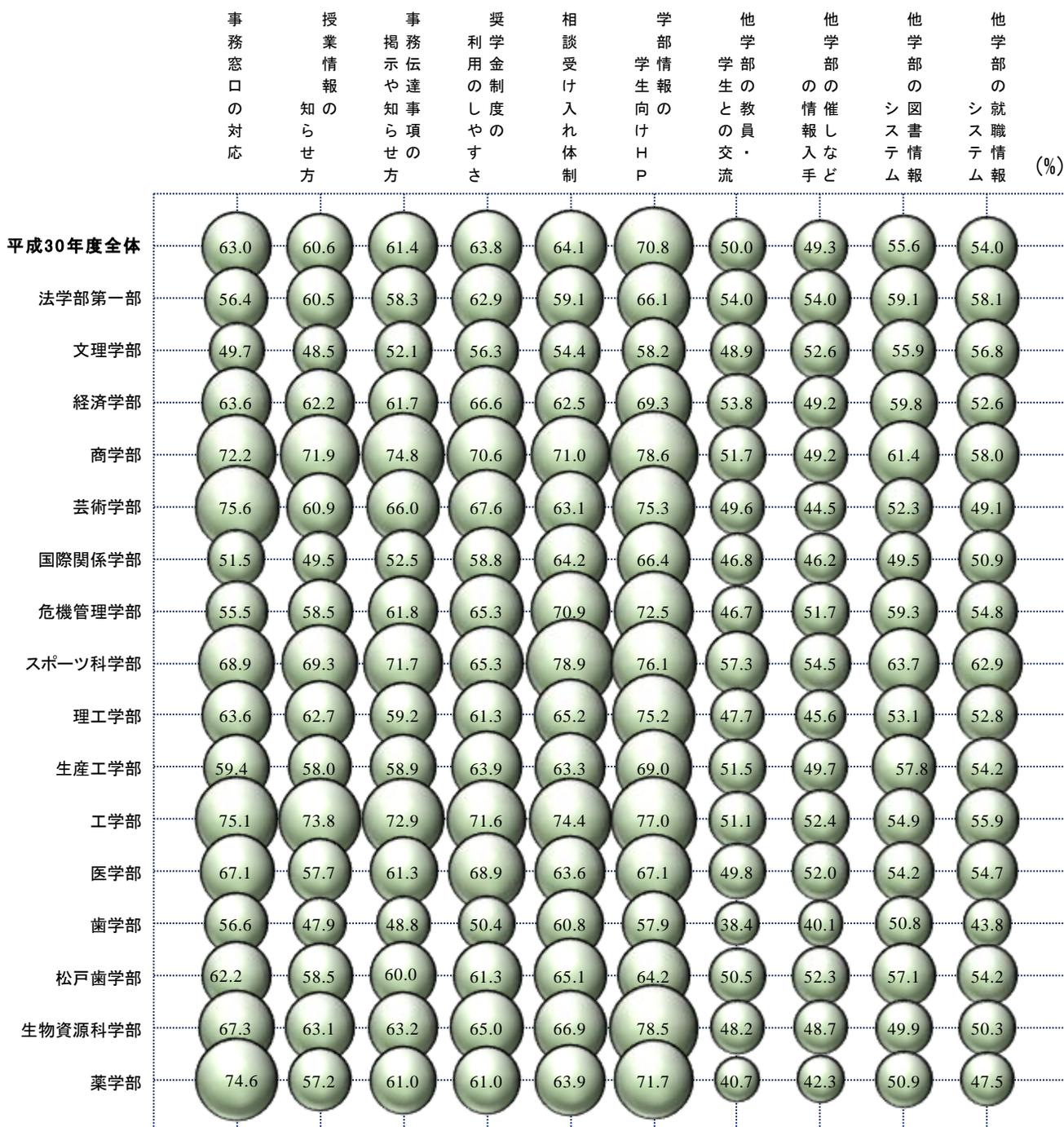
8. 対応・サービスについての満足層の比率

3年前と比較して、商学部・経済学部で学部の対応・サービスが大幅に向上。

学部と本学全体の対応・サービスについての満足層(とても満足+どちらかといえば満足)の比率を見たものが下図です。「事務窓口の対応」は芸術学部・工学部・薬学部・商学部で、「相談受け入れ体制」はスポーツ科学部・工学部・商学部・危機管理学部で、「学部情報の学生向けホームページ(HP)」は商学部・生物資源科学部など8学部で各70%以上と満足感が高くなっています。

3年前と比較すると、「事務窓口の対応」は商学部(25.8ポイント増)生物資源科学部(16.8ポイント増)、「相談受け入れ体制」は商学部(17.7ポイント増)経済学部(12.4ポイント増)、「事務伝達事項の掲示や知らせ方」は商学部(14.9ポイント増)薬学部(13.0ポイント増)で満足感が大幅に向上しています。

図3-8 対応・サービスについての満足層の比率(平成30年度全体・学部別)

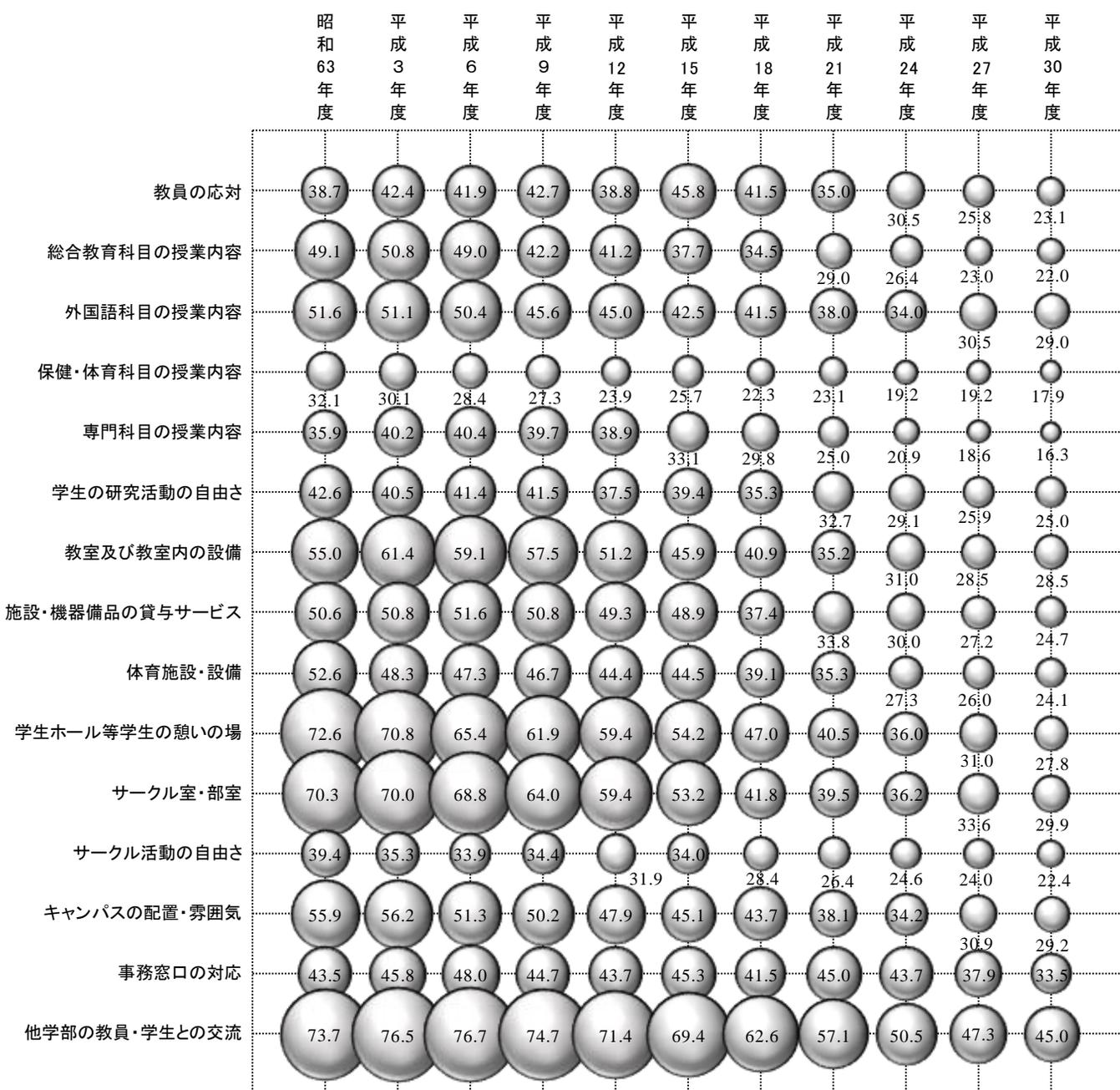


9.不満足項目の経年変化

「学生の憩いの場」と「サークル室・部室」は30年前より不満の減少傾向続く。
 「他学部の教員・学生との交流」「教員の応対」「事務窓口の対応」も不満が漸減傾向。

第1回調査（昭和63年度）から継続している調査項目について、不満足比率を経年変化で見たものが下図です。不満層（とても不満である＋どちらかといえば不満である）の漸減傾向が顕著なのは「学生ホール等学生の憩いの場」（30年間で44.8ポイント減）と「サークル室・部室」（同40.4ポイント減）です。また、「他学部の教員・学生との交流」についての不満も平成6年度の76.7%をピークに漸減し、24年間で31.7ポイント減少しています。また、「教員の応対」の不満は平成15年度の45.8%から15年間で22.7ポイント減少、24年間40%台で推移し続けていた「事務窓口の対応」も平成27年度は37.9%、今回は33.5%と減少しています。

図3-9 不満足項目の経年変化(全体)



10.不満足項目の経年変化－3年前との比較

3年前と比較して、「事務窓口の対応」と「学生食堂メニュー・値段」の不満が減少傾向。商学部・経済学部は多分野で不満が減少、国際関係学部は『対応・サービス』などで不満増加。

不満足（とても不満である＋どちらかと言えば不満である）と回答した学生の比率を前回（3年前）と比較したものが下表です。「事務窓口の対応」の不満は商学部・生物資源科学部・経済学部で10ポイント以上減少、「事務伝達事項の掲示や知らせ方」の不満は薬学部・商学部・生物資源科学部で10ポイント以上減少しています。

10ポイント以上減少した項目の数は、経済学部で17項目、商学部で14項目と多く、「教員の応対」等『授業』『施設』『対応・サービス』のいずれの分野でも不満の減少傾向が強くなっています。医学部ではコンピュータの利用など『施設』で3項目、薬学部では『対応・サービス』で3項目と不満の減少が目立っています。一方、国際関係学部では、『授業』『対応・サービス』で7項目不満が増加している点が目立ちます。

表3-10 不満足項目の経年変化－3年前との比較（学部別）

		白抜き	…10ポイント以上不満層減少					黒字	…10ポイント以上不満層増加					<増減ポイント>		
		全体	法	文理	経済	商	芸術	国際 関係	理工	生産 工	工	医	歯	松戸 歯	生物 資源	薬
授業 について	教員の教え方	-3.7				-18.0		6.0				-9.0		-5.3		-7.8
	教員と話のできる機会	-5.7	-5.3		-10.6	-17.0	-5.2	12.9	-6.8		-8.2	-5.0	-7.4	8.4	-5.5	-6.4
	教員の応対	-2.7			-6.7	-16.2										
	開講科目の種類	-0.4		8.0	-5.0	-8.6		15.1				-8.6	-9.5			-6.3
	科目登録時の選択の自由性	-1.8			-7.9	-7.1				6.8			-8.8			-6.3
	総合教育科目の授業内容	-1.0				-9.3					6.1	-7.7				
	外国語科目の授業内容	-1.5			-5.4	-7.7							-7.6			-7.6
	保健・体育科目の授業内容	-1.3			-9.5	-11.2						-5.4				
	専門科目の授業内容	-2.3		6.0	-9.0	-11.0						-6.4				-5.1
	他学部の授業との単位互換の機会	-0.5				-7.5						-7.7				-6.0
	学部内の他学科授業の受講機会	-0.3				-5.8		7.0				-6.8				
	学生の研究活動の自由さ	-0.9		12.1	-8.8	-12.9						-5.1	-5.2			
	授業料に見合う授業内容・施設	-2.6		7.2	-11.4	-10.1	-6.7									-8.6
施設 について	教室及び教室内の設備	0.0		6.3	-7.5	-6.1		6.4			5.7	-7.9		11.8		
	研究施設	-0.5			-7.3	-12.6		8.6			6.1					
	施設・機器備品の貸与サービス	-2.5			-16.3	-10.8	-5.8	6.3				-7.8		6.3		-8.3
	コンピュータの利用環境	-2.2		7.7	-29.2	-9.2					8.0	-10.5	5.3	11.8		
	コンピュータの利用時間	-3.4		5.3	-16.2	-5.5	-6.2		-9.3			-11.8			8.9	
	図書館の設備・雰囲気	-4.6		5.9	-31.2	-5.3				-5.2		-8.6	-5.4			
	図書館の蔵書内容	-3.5			-28.5	-9.6					-5.3					
	図書館の開館時間	-2.9			-10.8	-7.7				-5.1		-7.8				
	図書館の閲覧・貸し出しシステム	-2.5		5.8	-19.8	-7.7										
	体育施設・設備	-1.9			-14.2	-9.5	-5.2				5.1					
	学生食堂のテーブル数・混み具合	-2.7			-11.1	5.9	-7.0				-7.8	-6.5	6.6	-6.5	-8.1	-6.4
	学生食堂のメニュー・値段	-2.9			-6.1	-14.7	-13.3	7.7	-7.8	-5.9	14.6	-7.4	6.7	-8.9		-9.4
	購買部(売店)の品数・サービス	-0.5		5.1	-7.6	-6.7	-9.8					5.2	-8.1			
	食堂・購買部の営業時間	-3.2			-6.4	-9.5	-13.9					-5.6	-13.1			
	学生ホール等学生の憩いの場	-3.2			-15.5	-8.2	-8.0	7.3	-7.4						-6.5	-5.9
サークル室・部室	-3.7			-10.6	-9.7	-7.1		-7.3		5.8		5.6				
サークル活動の自由さ	-1.6		5.4	-8.8	-10.3											
キャンパスの配置・雰囲気	-1.7			-8.0	-5.0				-5.8		-7.7					
対応・ サービス について	事務窓口の対応	-4.4			-11.4	-24.1	-8.0	14.4		5.6	-6.4	-6.6		-18.7	-5.3	
	授業情報の知らせ方	-3.1		5.2	-5.7	-7.1		7.2	-9.8		-5.0			-9.0	-11.3	
	事務伝達事項の掲示や知らせ方	-3.9			-8.9	-12.4		6.1						-11.0	-15.1	
	奨学金制度の利用のしやすさ	-1.1		5.5	-8.7	-9.9		10.3			5.5			-8.0		
	相談受け入れ体制	-1.9		5.0	-12.4	-15.7		6.8						-6.0		
	学部情報の学生向けHP	-0.3	5.2	12.4	-7.5	-8.9		10.4	-5.7		6.7	-9.5			-5.9	
	他学部の教員・学生との交流	-2.3		5.8	-12.2	-7.6							5.2	-5.1	-12.2	
	他学部の催しなどの情報入手	-2.9			-11.9			6.3			-7.4			-9.3	-8.7	
	他学部の図書情報システム	0.3			-5.4			11.7			5.9			-7.3	-6.8	
	他学部の就職情報システム	-0.9			-8.0			11.2			5.6	-6.9		-5.6		

(注)学部別は、増減が5ポイント未満は非表示。